

政策整理番号 16

評価シート(B)

対象年度	H16	作成部課室	産業経済部観光課	関係部課室	
------	-----	-------	----------	-------	--

政策番号	2-5-1	政策名	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出
------	-------	-----	--------------------------

施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興
------	---	-----	------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効
概ね有効
課題有

【政策評価指標達成状況から】 有効
 ・指標名:観光客入込数 達成度 A
 ・(達成状況の背景)過年度の国体、W杯等の大規模なイベントに合わせた施策による効果に加え、それ以降の官民一体となったキャンペーン等の実施により、観光客入込数は伸びている。
 ・(達成度から見た有効性)観光客入込数は、目標を達成しており、施策の効果を認めることができる。

【政策満足度から】 概ね有効
 ・政策満足度は、第1回～第4回まで59～60点と必ずしも高くはないものの、政策に対しては、概ね有効と判断できる。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 概ね有効
 ・県内における観光消費額(推計)では、宿泊費、飲食費等の直接消費額が、H14年3,970億円からH15年4,872億円と902億円の伸びを示している。また、観光消費額がもたらす各種産業の誘発効果(推計)においてもH14年2,723億円からH15年3,265億円と542億円の効果を表している(以上:観光統計概要より)。
 ・国体、W杯等の大規模なイベントに加え、プロ野球新球団の「東北楽天ゴールデンイーグルス」誕生やNHK朝の連続テレビ小説「天花」の放映により、宮城の知名度が上昇していると思われる。

【総括】
 ・政策評価指標達成度の状況及び政策満足度から有効性が確認できる。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業	6		
2	主	地域資源観光化事業(再掲)	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号,4号

適切
概ね適切
課題有

【国、市町村、民間団体との役割分担】 概ね適切
 ・(国)観光地整備に関する各種事業の立案・実施
 ・(県)国、市町村、民間団体と連携を図り、観光立県行動計画推進プロジェクト事業の実施
 ・(市町村)市町村関連事業の実施
 ・(民間団体)観光関連団体の関連事業の実施

【施策目的を踏まえた事業か】 適切
 ・観光立県行動計画において、観光振興の4つの基本的方向を示し、これに基づく事業群を5か年戦略プロジェクトにおいて内容・バランスとも十分検討・実施しており、全て施策目的を達成するために必要な事業である。

【事業間で重複や矛盾がないか】 適切
 ・目的、対象者に応じ事業が適正に設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない。

【社会経済情勢に適応した事業か】 適切
 ・観光産業のみならず経済波及効果は高く、食材など地域資源の活用による観光振興は、地域産業全体の振興の起点となり得るものであり、強靱な観光重要な形成のため、必要な事業である。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 概ね適切
 ・前年度よりもかい離は15 10に減少されたものの、かい離幅をより少なくするため、各事業の推進が必要である。

【総括】
 ・施策目的、県の役割分担、事業体系、社会経済情勢、県民満足度調査の推移から判断して、本施策の事業設定は適切と判断できる。

施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興
------	---	-----	------------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【施策満足度から】概ね有効
 ・施策満足度は、前回55点から今回60点と5ポイントの改善を示している。

【政策評価指標達成状況から】有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・政策評価指標「観光客入込数」は、目標値を達成している。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね有効
 ・一つの目安として、県内における観光消費額(推計)では、宿泊費、飲食費等の直接消費額が、H14年3,970億円からH15年4,872億円と902億円の伸びを示している。また、観光消費額がもたらす各種産業の誘発効果(推計)においてもH14年2,723億円からH15年3,265億円と542億円の効果を表していることは、概ね有効と言える(以上:観光統計概要より)。

【業績指標推移から】概ね有効
 ・全体的に事業費は減少傾向にあるものの、寿司店指定件数が増加、スマイルあったか宮城観光案内所指定件数や地域資源観光化事業等が前年と同程度の指標を示している。
 ・ただし、指標の一部は、道路の延長や施設整備件数であるので、一概にその増減で有効性を判断することはできないものもある。

【成果指標推移から】有効
 ・政策評価指標である「観光客入込数」は、目標値を達成している。
 ・海外からの観光客入込数では、「外国人観光客誘致促進事業」を実施している中国、台湾、韓国からの入込数が増加、国内においても「宮城の好感度イメージ定着推進:誘客宣伝キャンペーン事業」(寿司街道)実施している塩釜、石巻、気仙沼で増加するなど成果指標は有効と認められる。

【総括】
 ・官民が一体となって観光客誘致対策事業を宮城独特のオリジナリティあふれる地域資源を活かすという施策を官民がともに意識し、継続的に一体となって事業を展開してきた実績があり、事業の有効性は図りしれない。
 ・施策に対する県民満足度が決して高くないが、前回と比して若干の改善が認められた。
 ・施策の主な内容が県外の旅行者に対するものであり、県民に直接アピールできないことが原因となっている可能性が非常に高いことを考慮すべきである。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

【施策満足度 業績指標・成果指標】概ね効率的
 ・施策満足度は60点と決して高くないが、業績指標に比して、成果指標の伸びが認められることから、概ね効率的と言える。

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】効率的
 ・指標の一部は、道路の延長や施設整備件数であるので、一概にその増減で判断することはできないが、政策評価指標は、目標を達成しており、効率的と言える。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】概ね有効
 ・一つの目安として、県内における観光消費額(推計)では、宿泊費、飲食費等の直接消費額が、H14年3,970億円からH15年4,872億円と902億円の伸びを示している(観光統計概要より)。
 ・また、観光消費額がもたらす各種産業の誘発効果(推計)においてもH14年2,723億円からH15年3,265億円と542億円の効果を表している(観光統計概要より)。
 ・以上から、当該データにおいても好調に推移していることから、業績・成果指標が増加又は横ばい傾向を示していることは、概ね有効と言える。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】概ね効率的
 ・対前年比で事業費が減少している状況で、業績指標が増加又は横ばい傾向を示していることは、概ね効率的と言える。

【総括】
 ・施策満足度は決して高くないが、政策評価指標は目標を達成しており、また、全般的に業績指標・成果指標とも概ね効率的と認められる。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

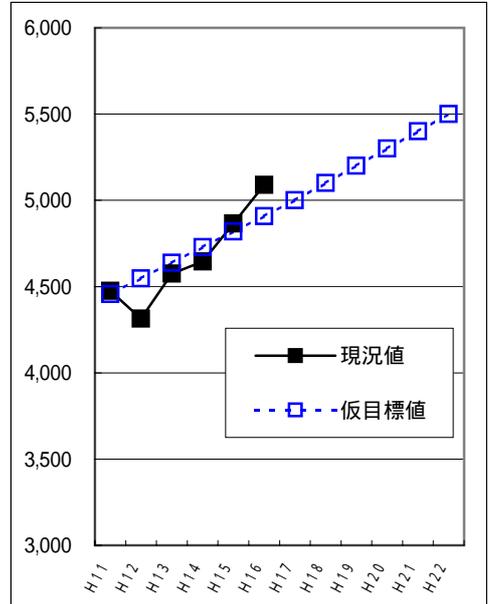
・事業群の設定は「適切」と判断し、「有効性」及び「効率性」も概ね適切であると判断できる。
 ・今後も共通の目的をもつ国や市町村、民間の観光関連団体と、各々の役割を意識しながら連携を図り、常に各々の有効な事業展開を踏まえて調整を行い、効率的な施策の実現に努めていく必要がある。

対象年度	H16	作成部課室	産業経済部観光課	関係部課室	
政策番号	2-5-1	政策名	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出		
施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
観光客入込数		万人						
目標値	難易度	H17	5,000		H22	5,500		
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	
現況値 (達成度判定値)	4,367	4,475	4,314	4,575	4,645	4,866	5,090	
仮目標値		4,457	4,547	4,638	4,728	4,819	4,909	5,000
【総括】 政策評価 指標達成度 の状況及び 政策満足度		A	C	B	B	A	A	

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・地域の産業全般に対する波及効果が高く、新たな展開を図る上で大きな原動力である観光産業の振興度を示す目安として適当と考え当指標を選定した。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A		-		70	70	70					
施策満足度 B		-		60	55	60						
かい離 A-B		-		10	15	10						

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
<p>達成度:A</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成13年の国体・障害者スポーツ大会、平成14年のW杯と、大規模なイベントに合わせた施策効果に加え、それ以降の官民一体となったキャンペーン等事業の実施により、観光客入込数は伸びている。 一方、景気の低迷、新型肺炎SARS等の影響により、観光需要は全体的に不安定になっていると思われる。 県内の観光客入込数は、各圏域で全般に増加傾向にある。特に「石巻」は、H15年連続地震の影響のため減少していたが、H16年は大きく回復している。また、「仙南」「大崎」「登米」圏域でも104%程度の伸びを示している。 	<p>判定:...</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光振興事業等の直接的な恩恵は、県外の旅行者及び旅行予定者が受ける割合が多いため、必ずしも県民満足度との相関関係の妥当性は判断できない。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

継続 要検討

【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】
 ・観光産業の繁栄の源泉となるのは、現地を訪れる観光客であり、観光施策を評価するには、観光客入込数を用いるのが妥当である。
 ・目標値に対する実績は、2年連続で達成しており、適正な目標設定であったと思料される。
 ・したがって、目標値についてはそのまま維持することとする。
 (目標値は、総合計画策定時の経済成長率見込みと同程度の2%で増加するとして算定している。)

事業分析カード(業績)

対象年度	H16	作成部課室	産業経済部観光課	関係部課室	
政策番号	2-5-1	政策名	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出		
施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興		

活動			左記活動(事業)によりもたらされた結果			
事業番号	事業名 [担当課室名]	事業の対象	業績指標名			H16
			H14	H15	H16	
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(宮城の好感度イメージ定着推進・誘客宣伝キャンペーン事業)【観光課】	JR駅 塩竈・石巻・気仙沼の 寿司店	寿司店指定件数	54	61	
			事業費(千円)	7,804	8,000	2,500
			効率性指標	0.0E+00	6.8E-03	2.4E-02
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(外国人観光客誘致促進事業)【観光課】	台湾・韓国への旅行 エージェント	事業費(千円)	5,267	5,138	5,017
			効率性指標	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(中国観光客誘致対策事業)【観光課】	中国(広州・香港)の 旅行エージェント	事業費(千円)		4,000	3,107
			効率性指標	#DIV/0!	0.0E+00	0.0E+00
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(国内観光客誘致対策事業)【観光課】	国内の旅行エージェ ント	事業費(千円)	4,000	5,200	4,671
			効率性指標	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(スマイルあったか宮城観光案内所の指定等)【観光課】	県内のガソリンスタン ド・観光情報案内所等	案内所指定件数	103	100	99
			事業費(千円)	1,060	1,059	941
			効率性指標	9.7E-02	9.4E-02	1.1E-01
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(インターネット観光情報提供事業)【観光課】	インターネットにより観 光情報を求める旅行 予定者	事業費(千円)	4,180	4,147	4,053
			効率性指標	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(バリアフリー観光推進事業)【観光課】	身体に障害を持った 旅行予定者	ガイドブック這う負数		5,000	
			事業費(千円)	399	945	0
			効率性指標	0.0E+00	5.3E+00	#DIV/0!
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(面白山・刈田岳・硯石線登山道整備事業)【観光課】	南蔵王を目的地とする 旅行者		100	811	(繰越)
			事業費(千円)	20,000	20,000	10,000
			効率性指標	5.0E-03	4.1E-02	#VALUE!
1	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(みやぎ路観光地整備事業)【観光課】	観光関連施設整備を 行おうとする市町村	施設整備件数	14	8	5
			事業費(千円)	35,100	20,406	21,625
			効率性指標	4.0E-04	3.9E-04	2.3E-04
2	地域資源観光化事業(再掲)【観光課】	テレビ局、ラジオ局、 新聞、雑誌等の媒体	観光情報提供量	12	12	12
			事業費(千円)	1,049	1,049	944
			効率性指標	1.1E-02	1.1E-02	1.3E-02
			事業費(千円)			
			効率性指標			
			事業費(千円)			
			効率性指標			
			事業費(千円)			
			効率性指標			
			事業費(千円)			
			効率性指標			

施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興
------	---	-----	------------------

活動によりもたらされた成果					施策実現までの道筋 【事業内容 目的】
成果指標名	H14	H15	H16		
観光客入込数(塩釜・石巻・気仙沼) (単位:万人)	466	507	560	⇒	有力な地域資源である寿司・七夕・牛タン・温泉などを用いたキャンペーンの展開やポスター掲示により、みやぎの魅力を効果的に印象付けます。
観光客入込数(台湾・韓国)	26,038	33,964	38,786	⇒	既に入込み実績があり、今後さらに伸びる可能性の高い地域に、みやぎの魅力を効果的に印象付けます。
観光客入込数(中国・香港)	26,478	14,303	18,816	⇒	今後入込みの急増が予想される中国本土に、みやぎの魅力を効果的に印象付けます。
観光客入込数(単位:万人)	4,645	4,866	5,090	⇒	国内の主要な市場である首都圏・関西・中京を中心に、民間と共同でみやぎの魅力を効果的に印象付けます。
				⇒	県内のガソリンスタンドや観光情報案内所等を指定し、観光マップ等の観光情報を提供する等してホスピタリティを向上させます。
観光客入込数(単位:万人)	4,645	4,866	5,090	⇒	インターネットにより、日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語の各言語でみやぎの魅力を効果的に印象付けます。
				⇒	観光施設関係者向けの研修会や、パンフレットの配布等により、高齢者・障害者の受入体制を整備するとともに、効果的に印象付けます。
観光客入込数(南蔵王)(単位:万人)	270	301	311	⇒	観光施設の整備を進め、観光客の利便性を向上します。
観光客入込数(単位:万人)	4,645	4,866	5,090	⇒	市町村への補助をとおして、観光サインやバリアフリートイレ、観光資源を生かした施設等の整備を促進します。
観光客入込数(単位:万人)	4,645	4,866	5,090	⇒	地域の観光資源の発掘に努めるとともに、マスコミをとおしてイベントを中心とする観光資源を効果的に印象付けます。
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	
				⇒	

施策概要

地域資源を活用した観光産業の振興

地域の歴史や文化、豊富な食材、祭り、イベントなどの地域資源を活用した観光産業の振興を目指します。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 16

対象年度	H16	作成部課室	産業経済部観光課	関係部課室	
政策番号	2-5-1	政策名	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出		
施策番号	3	施策名	地域資源を活用した観光産業の振興		

C-1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・今後とも経済波及効果が高い観光産業の振興に関する事業の展開を図ることが有効であることから、引き続き重点的に実施する必要がある。

【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・観光産業のみならず経済波及効果は高く、食材など地域資源の活用による観光振興は、地域産業全体の振興の起点となり得るものである。
 ・政策評価指標の目標値に達したものの、施策に対する県民満足度が低い、施策の主な内容が県外の旅行者に対するものであり、県民に直接アピールできないことが原因となっている可能性が非常に高いことを考慮すべきである。
 ・観光立県行動計画5か年プロジェクトを踏まえ、刻々と変動する社会情勢の中で、強靱な観光重要の形成のため、的確に事業を展開すべきである。

【上記対応により、当該事業を縮小・中止した場合の影響】
 ・該当なし

C-2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H18年度)の方向性とその説明

方向性	拡大	維持	縮小	その他
-----	-----------	----	----	-----

【見直しの視点とその理由】
 ・今後とも経済波及効果が高い観光産業の振興に関する事業の展開を図ることが有効であることから、引き続き重点的に実施する必要がある。

【次年度の方向性】
 ・観光産業のみならず経済波及効果は高く、自然、歴史・文化、温泉、食など地域資源の活用による観光振興は、地域産業全体の振興の起点となり得るものである。
 ・観光立県行動計画5か年プロジェクトを踏まえ、刻々と変動する社会情勢や観光客のニーズの変化に対応しながら、的確に観光産業の振興を図る。
 ・また、県内各地への誘客には、観光基盤の整備は勿論のこと、その地域に住む人が自分の地域に誇りと愛着を持ち、自信を持って紹介できる魅力的な地域となることが重要である。
 ・したがって、県内の交流人口を増やすこと、特に仙台圏域の県内各地への誘客により、宮城の良さが再認識されることで、県全体の観光地のレベルアップを図る。

主要事業・重点事業の次年度(H18年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名 [H16決算見込額]	方向性	方向性に関する説明
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(新世紀・夢キャンペーン事業(宮城の好感度イメージ定着推進・誘客宣伝キャンペーン事業)) [2,500千円]	拡大	宮城の観光情報・観光資源を、旅行者・旅行予定者や商品化する可能性のある相手方に幅広く発信していくものであり、観光産業に与えるインパクトが大きいことから、重点的に実施する必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(新世紀・夢キャンペーン事業(外国人観光客誘致促進事業)) [5,017千円]	拡大	宮城の観光情報・観光資源を、今後一層の誘客が期待できる台湾、韓国等において商品化する可能性のある相手方に発信していくものであり、観光産業に与えるインパクトが大きいことから、重点的に実施する必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(新世紀・夢キャンペーン事業(中国人観光客誘致促進)) [3,107千円]	拡大	宮城の観光情報・観光資源を、訪日観光客の急増が予想される中国において商品化する可能性のある相手方に発信していくものであり、観光産業に与えるインパクトが大きいことから、重点的に実施する必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(新世紀・夢キャンペーン事業(国内観光客誘致対策事業)) [4,671千円]	維持	宮城の観光情報・観光資源を、商品化する可能性のある相手方に発信していくものであり、観光産業に与えるインパクトが大きいことから、継続的に実施する必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(観光情報案内システム整備事業(スマイルあったか宮城観光案内所の指定等)) [941千円]	維持	宮城県内の観光地において観光情報・観光資源を発信する、観光宣伝とホスピタリティを兼ねた重要な事業であり、継続的に実施する必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(観光情報案内システム整備事業(インターネット観光情報提供事業)) [3,982千円]	維持	宮城の観光情報・観光資源を、旅行予定者や商品化する可能性のある相手方に広く発信していくものであり、多様な旅行情報需要や旅行形態に対応するためにも、継続的に内容の充実を図る必要がある。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(観光施設整備事業(南蔵王歩道整備事業)) [10,000千円]	維持	快適な観光体験を支援するものであり、受け入れ体制整備のハード面の主柱として必要不可欠である。
1	主	観光立県行動計画推進プロジェクト事業(観光施設整備事業(みやぎ路観光地整備事業)) [21,625千円]	維持	快適な観光体験を支援するものであり、受け入れ体制整備のハード面の主柱として必要不可欠である。
2	主	地域資源観光化事業(再掲) [944千円]	維持	宮城の観光情報・観光資源をマスコミ等を利用して広く発信していくものであり、継続的に実施するとともに、商品化する可能性のある相手方に直接発信するなど、多様な取り組みを行う必要がある。